教育目標　すくすく　ぐんぐん　にこにこ

園だより

9月

令和４年９月２日
第５３３号
北区立じゅうじょうなかはら幼稚園

園長　髙沢　ゆみか

３年ぶりの同窓会

幼稚園に子どもたちの明るい笑顔と歓声が戻ってきました。今年は、新型コロナウイルスの感染拡大を心配しつつ、行動制限のない夏休みとなりました。みなさま、どのような夏を過ごされましたでしょうか。夏休み中は、プールの片付けや飼育栽培物の世話などにたくさんのご協力をいただきました。誠にありがとうございました。今日から１学期後半の生活が始まります。子どもたちがみんな元気にそろって９月を迎えられることをうれしく思います。

さて本園では、８月２３日に同窓会を行いました。元園長先生方、担任の先生方にもご来園いただき、３年ぶりに、小学１年生から中学１年生まで約５０名の修了生が学年ごとに時間を区切りながら、友達や先生との再会を喜び合い、久しぶりの幼稚園を懐かしんでいました。３年ぶりということもあり、修了生たちは、門を入って来るときは少し緊張した様子や恥ずかしそうな表情も見られましたが、懐かしい友達や先生と顔を合わせ、言葉を交わすうちに、すっかり緊張もほぐれて幼稚園の頃の面影が残る笑顔を見せてくれました。懐かしい遊具を手に取ったり、好きだった遊びを始めたりして、伸び伸びとうれしそうに過ごす修了生たちの変わらない笑顔が愛おしく、また、成長ぶりに頼もしさや喜びを感じました。同窓会で、園を巣立った子どもたちと再会したときに味わえる特別な気持ちです。

会の中では、幼稚園時代の思い出や今好きなことなどを一人一人に話してもらう時間も設けました。修了生から語られる幼稚園の思い出の中には、大きな行事の思い出だけでなく、大人が忘れかけていたような日々の小さな出来事も多くありました。そのときの光景、一緒にいた友達や自分を受け止めてくれた先生の存在などとともに胸にしまわれているのでしょう。修了生たちの言葉に耳を傾けながら、それぞれの宝物を見せてもらったような気持ちになりました。

これから、幼稚園の生活は１年の中でも充実の時期を迎えます。子どもたち一人一人が、自分らしく過ごす中で力を発揮し、共に育ち合っていく過程には、同窓会で語られたような長く心に残る出来事もあると思います。改めて、幼稚園の子どもたちの姿に丁寧に心を重ね、一瞬一瞬を大切にしていこうと強く思っています。

今月の指導のねらい

＜ちゅうりっぷ組＞

- 園生活のリズムを取り戻し、好きな遊びにじっくりと取り組んだり友達とかかわって遊んだりすることを楽しむ。
- 学級のみんなと一緒に、体を動かして遊ぶ楽しさや心地よさを味わう。

＜さくら組＞

- 一緒に遊ぶ友達の思いを聞いたり、自分の思いを伝えたりしながら遊ぶ。
- いろいろな運動遊びやルールのある遊びに取り組む中で、仲間と力を合わせる楽しさを味わう。